



MONTHLY NEWS

# 京都画廊連合会ニュース

THE KYOTO GALLERIES FEDERATION OF ARTS

2017  
5月号  
No. 505

## 技を極める ヴァン クリーフ&アーペル ハイジュエリーと日本の工芸

と き／4月29日(祝)～8月6日(日) 9:30AM～5:00PM  
と ころ／京都国立近代美術館 (祝日以外の月曜休館)  
京都市左京区岡崎公園内 ☎075-761-9900

ヴァン クリーフ&アーペルは、ハイジュエリーとして世界で高く評価されている。本展は、日本とフランスの「技」に注目し、「技を極める」あるいは極められた技によって生み出された美しい作品を両国の文化とともに鑑賞していただく展覧会である。最初は、ヴァン クリーフ&アーペル創立から現代に至るまでの歴史的展開の中でのジュエリー作品の流れを概観し、次に、日本の明治に制作された超絶技巧作品との対比の中でハイジュエリーの技を鑑賞。最後は、文化の融合と未来ということで、日本とフランスの現代における技の饗宴をごらん頂ける。京都は、1200年以上前から明治維新まで天皇が鎮座する都。それ故、栄枯盛衰はあったが、文化の中心であり雅な世界が繰り広げられ、衣食住に関連した最高級の品々が生み出されてきた。たとえば衣では、十二単や小袖、辻が花、能衣装など混乱を惜しげもなく使った装束が作られている。これらの制作には現在の西陣のような織物から染物まで技術の粋が詰まった地域があり、熟練した職人の技と心意気があったからこそ様々な要求に応えることができたのである。このことは、フランスの首都パリで修業したヴァンクリーフ&アーペルにおいても同様である。熟練した職人が一子相伝のように技を伝える、これこそが国や時代を超えて共有出来るもののひとつであると言っても過言ではない。フランスを代表するハイジュエラーであるヴァンクリーフ&アーペルの「技」と長い歴史の中で育まれた日本工芸の「技」の対比や結びつきは、新たな文脈を生み出すことと期待している。



並河靖之《蝶に花丸唐草文飾壺》七宝、明治時代



《インド風ネックレス》1971年



《鳥かご》1935年



十二代西村總左衛門《孔雀図》(染織) 1900-1910年

## いつだって猫展

と き／4月29日(祝)～6月11日(日) 10:00AM～6:00PM  
と ころ／京都文化博物館 (月曜休館、5/1は臨時開館)  
京都市中京区三条高倉 ☎075-222-0888

猫は、古くから日本人の生活に深く寄り添ってきた動物です。愛らしい猫の姿は古来、多くの物語や絵に描かれ表されてきましたが、特に江戸時代後期には現代さながらの「猫ブーム」がたびたび到来し、歌舞伎や浮世絵を彩りました。本展覧会では、特に猫をモチーフとした浮世絵や招き猫の世界を中心に、人々を熱狂させた古き良き「猫ブーム」の諸相をご紹介します。猫にまつわる江戸時代人の物語やイメージは楽しいもの、可愛らしいもの、妖しいもの、怖いものなど様々です。その背景には、猫が人々にもたらした生活の恩恵と苦闘、猫とともに歩んだ昔の人々の生き方と歴史が様々に込められています。家庭の愛玩猫に野良猫、書物や浮世絵に表される自由奔放な色々の猫の姿には、思わず笑みがこぼれます。本展をご覧いただくことで、猫好きの方々はもちろん、そうではない方も、愛らしい江戸猫のとりこになるはずですよ。



会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水		
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	「京都(うち)だって猫展」／近代京都の大津絵-小川千壺「西洋風俗大津絵」を中心に- 祇園祭-放下鉦の名宝-																																
	3F	いつだって猫展 (月曜休館／5月1日は臨時開館)																																
	4F																																	
	5F	辛酉会							日本のこころと美 2017 奥宜憲の書							七回忌 小峰鐵彰 遺作展・第6回 小峰鐵彰 門下生展							50周年記念 京都書作家協会 特別展 京の書の源流をたどる											
	6F														落語会							京都橘 大学卒業生 書道展							第49回 京華会					
別館	KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2017															音楽会					音楽会					音楽会リハーサル								

→6/18  
→6/11

会場	日曜	日曜																																	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	13月	14月	15月	16月	17月	18月	19月	20月	21月	22月	23月	24月	25月	26月	27月	28月	29月	30月	31月			
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111		戦後ドイツの映画ポスター (月曜休館)																																	
		技を極める-ヴァン クリーフ&アーベル ハイジュエリーと日本の工芸 (月曜休館)																																	
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541-1151		開館120周年記念特別展覧会 海北友松 (かいほうゆうしょう) (月曜休館)																				庭園のみ開館 (月曜休館)													
京都市美術館 左京区岡崎公園内 771-4107	本館	再整備工事のため、本館は休館いたします。																																	
	別館	アジア水墨画展 2016					第56回 日本現代工芸 美術展 (近畿展)					第58回 京都写真連盟展 尖 (日本画)					第57回 日本南画院展					新美2017 公募展													
京都府立 文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	1F	自由美術京都作家展 (洋画)					ベクトル彫刻展					第41回 京都彫刻家協会展					東丘社57回展 (日本画)					第70回 嵐島社展													
	2F	日本画グループ展					第49回 墨人関西展 (書)					平安桜楓会 (日本画)					東丘社57回展 (日本画)					第70回 嵐島社展													
	3F	傲古展 (日本画)					桑の実会展 (日本画)																												
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26 463-0007		当館はリニューアル工事のため、2017年1月から2018年春頃まで休館いたします。 開館日は決まり次第、お知らせいたします。																																	
① 何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側 525-1311		“決定的瞬間” Henri Cartier-Bresson展 (月曜休館)																																	
① 高島屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	画廊	黒光茂明展 (日本画)	京団扇 十代饗庭長兵衛展 鎌倉中窯 河村喜史作陶展					第7回横山山人 グラスデコール展					中島健太展-PURE- (洋画)					日本伝統工芸近畿展開催記念 わざの美・現在 (いま) 展					五浦会												
	グランド ホール	ウルトラセブン 放送開始50年記念 ～モロボシ・ダンの名をかりて～										第46回 日本伝統工芸近畿展					春の 第72 回展																		
① 大丸 中京区四条高倉 211-8111	画廊	オリビエ・ デフォー展	ディズニーアート& コレクションフェア					大塚千穂日本画展					関西白日会 「白駒の会」					中野大輔日本画展																	
	アート サロン	石谷雅詩 日本画展	和のしつらい																												河野迪夫金工展				
	ミュージアム	追悼水木しげる ケケケの人生展																																	
① 中信美術館 上京区下立売油小路東入 417-2323		京都工芸の精華2017展 (月曜休館)																																	
① 並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東 752-3277		春季特別展「明治の七宝」 (4月より入館料改訂)																																	
① 美術館「えき」KYOTO JR京都伊勢丹7F 352-1111		KYOTO GRAPHIE アニエスパー フォトコレクション										岩合光昭写真展 ねこの京都																							
① 会場	日曜	日曜																																	
	1F	杉本尚志 作陶展																																	
	2F																																		
① アートスペース虹 三条蔵上ホホテル隣 761-9238		福田真知 (映像)					シュヴァープ・トム (写真)					沖見かれん (平面)					山本理絵 (染色)					森田 麻祐子													
① Art Spece MEISEI 中京区寺町竹屋町上ル 744-0122		川端祥夫展 (パステル画) J氏の庭-II					八幡朋子展 (洋画) -ファンタジア・オトイロー					日本画展					休廊																		
① アートギャラリー博宝堂 左京区岡崎神宮道東側 771-9401		深田充夫展「心の世界」(月曜休館) -ペン画と立体による心象風景-																																	
① 綾小路ギャラリー武 下京区綾小路高倉東入ル 351-4787		鶴田啓子 E KOMO MAI 展 (純銀ジュエリー作品)										三人展 【書と陶の灯り】																							
① イムラ・アート・ギャラリー 左京区丸太町川端東入 761-7372		Lee Minhoo 個展 (写真)																																	
① 芸艸堂画廊 中京区寺町二条下ル 231-3613		木版画常設展																																	
① 絵草子 東山区新門前通東山西 551-9137		常設展																																	
① 延寿堂ギャラリーソフォラ 中京区二条寺町東入 211-5552		古川莉恵展 ガラス・アクセサリー (月曜休廊)										丹下郁展 (陶) (木曜休廊)																							
① 御池画廊 北区小山上総町20-2 492-3083		洋画/日本画常設展 (日・祝休廊) 青木敏郎・伊谷賢蔵・池田遙邨・熊谷守一 他										現代作品展										洋画/日本画 常設展													
① カギムラ画廊 中京区河原町四上ル東入 221-2996		日本画・洋画常設展																																	
① 画廊きよみず 東山区清水五条坂 525-2062		日本画常設展																																	
① 画廊後素堂 中京区新町丸太町下ル 231-0938		南川朋宣日本画展 (会期中無休) ～地球イチバン僕ニバン～																																	

①: 企画および常設を中心に活動する画廊 ②: 貸画廊

## “決定的瞬間” Henri Cartier-Bresson 展

と き／4月5日(水)～6月18日(日) 10:00AM～6:00PM  
ところ／何必館・京都現代美術館 (月曜休館)  
京都市東山区祇園町北側271 ☎075-525-1311

アンリ・カルティエ=ブレッソンは、20世紀写真における最も重要な写真家の一人です。1952年の写真集『Images a la Sauvette (すり抜けていく映像)』はアメリカでThe Decisive Moment「決定的瞬間」と訳され、この言葉と共に作品は世界の写真家に大きな影響を与えました。メキシコ、スペイン、アメリカ、インド、ロシア、中国、日本などブレッソンは世界中を歩き、ガンジーの暗殺、ロシアの解放、スペインの内戦前夜など、文字通り「決定的瞬間」に立会い、そして、報道写真を芸術の域にまで押し上げ、20世紀の写真史における神話を作り上げたのです。

1997年のパリでの出会い以来、ブレッソンと親交を深めてきた館長の梶川芳友は2002年に南仏プロヴァンス、セレステの別荘に招かれ、再会します。写真家でもあったマルティーン夫人の手料理を囲み、パリとは違うゆったりした時間の中、93歳になっても現代写真に対する鋭い批評精神に衰えはなく、未来を眺望する強い眼差しに、心を打たれ深い感銘を受けたといいます。

本展は、アンリ・カルティエ=ブレッソンのサイン入りオリジナルプリント約60点を展覧いたします。一瞬を永遠に変えたブレッソンの作品を是非ご高覧下さい。

○記念出版『カルティエ=ブレッソン 写真集』 3,500円



「ムフタール街、パリ」 1952年



「サンラザール駅、パリ」  
1932年

## シュテファン・シュピーヘル新作展 Elementals ～精霊～

と き／4月25日(火)～5月26日(金) 2:30PM～7:00PM  
ところ／Gallery G-77 (日・月休廊)  
京都市中京区小川通丸太町下ル中之町 ☎090-9419-2326

シュテファン・シュピーヘルは西洋人でありながら、日本や東洋の思想にも共鳴し、独自の境地を切り拓いてきた興味深い作家です。1986年に原美術館での展覧会のために日本を訪れていらい、日本の精神性に興味を持ってきました。2014年には京都の橋本関雪記念館のリニューアルオープン展でも個展を開き日本ともゆかりの深い作家です。

今回はこの2年間に制作された最新作 Blossom (開花) から Permeating the Skies (空に帰る) シリーズを展示します。彼の作品は、～精霊～“すべてのものにスピリットが宿っている”というコンセプトに基づいて制作されています。シュテファンは長年にわたって Blossom (開花) というシリーズの中で、自然の移り変わり、そして生と死をテーマに追求してきました。彼はそのテーマを紙やキャンバス、アルミ板などを使って表現してきました。

彼の制作のプロセスの重要な特徴は即興性にあります。作品はあらかじめ綿密に計画されるのではなく、紙やキャンバスの上でその瞬間瞬間で生まれてきます。その時々心の動き、予測不能な線やタッチ、それらは、二度と戻ることのない「いま、ここ」でしか生まれない表現となっています。

彼の最新作の Permeating the Skies (空に帰る) シリーズは、シュテファンのごく親しい友人の突然の死というショッキングな出来事の後で生み出されました。友人の死に強い衝撃を受けた彼は、円相のドローイングを何百枚も書いたと言います。手が勝手に動きを止めることができなかったと言います。その中で、次第に彼は霊的な深いところにある存在を感じる事ができたと言います。目に見えない、しかし確かにある存在。それを捕まえるために彼は作品を作り続けました。そして彼はついにそれを捕まえることができたと言います。

日本では「円相」は禅の境地を表すものとして知られています。奇しくも彼が友人の死に直面し、克服するときに円を選んだというのは興味深いことでもあります。古来日本ではすべての自然に神が宿ると信じられてきました。一方スイスの森にも古くは精霊が棲むと信じられてきたと言います。

友人の死を乗り越えることで、彼の作品はさらなる境地にたどり着いたといえるでしょう。

シュテファン・シュピーヘルの新たな展開をご覧ください。



## 三桙正典展 一春を描く

と き／4月29日(土・祝)～5月28日(日) 12:00～6:00PM  
ところ／ギャラリー白川(月曜休廊 月・祝開廊) ☎075-532-2616  
京都市東山区祇園下河原上弁天町430-1 (東山安井信号東入ル南下ル)

三桙正典は、お寺や美術館・資料館の中にある和の建物の空間を彼の現代アートで埋め尽くす試みに取り組み、2012桜下亭(広島:重森三玲作庭茶室)白雪楼(蘭島閣美術館・広島)／2013瑞峯院(大徳寺・京都)明喜庵(爽籟軒・尾道)ひろしま美術館壁画(広島)／2014明星院(広島:上田宗箇流和風堂写)和心庵(広島市植物公園)／2015頼山陽史跡資料館居室(広島)専立寺(広島・吉和)妙正寺(三原)／2016錦楓亭(岩惣・宮島)露滴庵(国宝浄土寺・尾道)明喜庵(爽籟軒・尾道)／2017洗心庵(なかた美術館・尾道)等で、精力的に作品を発表してきました。

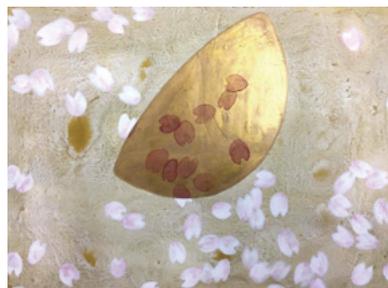
今展では、ジャパニーズ・モダンをテーマに様々な桜を描き発表いたします。また、ギャラリー白川と同じ東山の三条にある古川町商店街の依頼で三桙が手がけた屏風を併せて展示致します。この屏風は、三桙が、京都洛中洛外図をもとに江戸から平成に続く東山(東山古川町商店街)の移り変わる様々な風景を同じ画面に重ねて描いたものです。古い青写真を見るような時代感とそれぞれの時の華やかな心象風景を藍色と金色を使って表現しています。是非、ご覧下さいませ。なお、ギャラリー白川では4回目の個展です。



「古川町商店街屏風」和紙にアクリル  
168.2×184cm



「花」和紙にアクリル  
52×37cm



「桜」和紙にアクリル 28×38cm

## 赤松玉女個展「あいまいのものがたり ambiguous stories」

と き／5月2日(火)～5月7日(日) 12:00～7:00PM  
ところ／ギャラリーヒルゲート(1階、2階)  
京都市中京区寺町通三条上ル ☎075-231-3702

1980年代から人物を描いてきた作家による、絵画の展覧会。ヒルゲートで初めての展覧会であり、作家がセレクトした近年の過去作と新作を加えた合計約20点を展示する(キャンバスにアクリル絵具によるペインティングと、紙に混合技法によるドローイング)。当画廊では初の、赤松先生にとっても京都では久しぶりの個展です。どうぞご覧下さいませ。(ギャラリーヒルゲート)

赤松先生は、創作活動初期の80年代に奇妙な物語を感じさせる不思議な光景を描いていたが、その後カップル(男と女)や、ファッション誌を飾るモデルのポートレート、また近年は自身の子どもや家族、身近な人々の日常の出来事にインスパイアされたドローイングを発表してきた。どのシリーズも描かれる人物たちの視線に、様々な思惑や感情が含まれている。モデルや母娘を描いても、美しい者、幸せな者たちに見えず、かといって嘆き悲しむ苦悩の表情もない。笑っているのか、怒っているのか、泣いているのか感情が判別しない顔、年配なのか子どもなのか、若い女性なのか、時には性別すら判然としない顔もある。彼らは感情を隠すために曖昧な表情をしているというよりは、自分自身の複雑さに途方に暮れているようだ。目から溢れるいっばいの涙の粒は歓喜か嘆きか、母と娘を結びつけているのは愛か呪縛か。複雑な感情が絡まる人間の多面的な物語は、その曖昧な複雑さゆえに面白く、美しく、豊かである。

赤松玉女(あかまつ たまめ)

兵庫県尼崎市生まれ、京都市立芸術大学大学院美術研究科油画修了

1995、2001前田寛治大賞展(倉吉博物館)

1993、95、97「IMA絵画の今日」(新宿三越美術館)

1989-92イタリア滞在

1986、87、88安井賞展(西武美術館)

2014「赤松玉女-絵画の軌跡1984-2014」(西脇市岡之山美術館)

イタリア、京都、大阪、東京で個展、グループ展多数開催。

京都市立芸術大学美術学部教授

その他の活動として、2010年から障害者のアート活動支援。



「POOL」

## 橋本大輔・よし子二人展

と き／4月28日(金)～5月10日(水) 10:00AM～6:00PM  
 ところ／京都陶磁器会館2階ギャラリー (木曜休館)

煌めく宇宙のような天目の橋本大輔氏と、繊細で個性的な染付のよし子さん。おふたりの個性がぶつかり合う展覧会です。大輔さんが天目の釉薬を志されたのは、京都市工業試験場陶磁器コースの在籍中のことだそうです。星の数ほどあるテストピースの中にひととき魅力的なひとかけらの陶片が、今の橋本大輔さんの出発点でした。一方、よしさんは学校で日本画を学ばれた後、友禅作家辻本雅俊氏に師事。友禅を手掛けておられましたが、陶画に変更。とにかく描いていたい…と旺盛な制作意欲で独自の染付を展開されています。全然違う作品を、仲良く二人で制作されている橋本夫妻。是非、ご高覧ください。

- 〈橋本大輔 陶歴〉  
 昭和47年 京都五条に生まれる。  
 平成14年 京都府立陶工高等技術専門学校 陶磁器成形科終了  
 平成16年 京都市工業試験場 陶磁器コース終了  
 二代目 橋本城岳に師事  
 平成25年 独立  
 第41回・第43回 日本伝統工芸展近畿展入選
- 〈橋本よし子陶歴〉  
 昭和45年 京都五条に生まれる。  
 平成元年 京都市立銅駝美術工芸高校日本画科卒業  
 彩墨友禅 辻本雅俊氏に師事  
 二代目 橋本城岳に師事  
 平成16年 独立  
 平成25年 独立

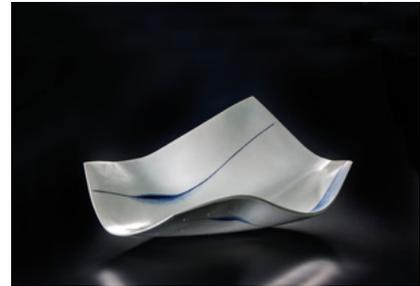


## 柴田良三染付展「藍の風」

と き／5月19日(金)～5月31日(水) 10:00AM～6:00PM  
 京都市東山区東大路五条上ル ☎075-541-1102

柴田良三氏の作品には、いつも爽やかな藍色の風が吹いている。染物屋に生を受けた柴田氏は「焼きもので染物をしている」と笑う。その言葉通り、彼の作品は細部まで計算しつくされた造形の上に、染付の藍色が、おしゃべりをするように踊っていて、見ているものを飽きさせない。そして、作品を包む釉薬のなめらかな乳白の肌合いと、優しい手触りは、柔らかな絹織物のよう。上質なエレガンスをまとった独自の作風は、洋の東西を問わず人の心を惹きつけるようだ。自由で詩情豊かな柴田良三の世界を、心行くまでご堪能いただきたい。

- 〈柴田良三 略歴〉  
 1978年 京都市立芸術大学陶磁器専攻科修了  
 1979年 出石磁器トリエンナーレ佳作賞  
 1997年 京都美術工芸展優秀賞  
 1999年 京都工芸美術作家協会京都府知事賞  
 2002年 染付公募展瀬戸染付奨励賞  
 2005年 文化庁海外派遣留学(アメリカ)  
 2008年 京都工芸ビエンナーレ招待出品  
 2013年 オーストラリア展(キャンベラ)  
 2014年 「日本伝統工芸展」出品作が宮内庁の買い上げとなる。  
 〈パブリック・コレクション〉  
 京都市／兵庫豊岡市立・伊藤清永美術館／オーストラリア  
 日本大使館／宮内庁  
 日本工芸会正会員 京都工芸美術作家協会理事 工芸京都同人



## 「心の世界」

### 深田充夫 — ペン画と立体による心象風景

と き／4月28日(金)～5月28日(日) 11:00AM～7:00PM  
 ところ／アートギャラリー博宝堂 (最終日は5:00PMまで/月曜休廊)  
 京都市左京区岡崎円勝寺町91-99 ☎075-771-9401

私の子供の頃は、川や野原が遊び場であり学びの場でした。そして子供(人間)と自然は共存していたかと思います。しかし、いつからか高度経済成長と共に子供の遊び場は仮想空間「ネットゲーム」のような人工的な世界へ変わって行き汗を流す事無く脳を満足させるだけの視覚的な遊びへと変化して行きます。このような遊びも原因の一つだと思のですが「引きこもり」という社会問題が起き、人の心や自然も病んできているように考えます。特に、人間による乱開発で地球が怒っているかのように世界中で異常現象が起きています。

止まる事無い「争いや乱開発」、「震える心」、「病む人々」。私はこのような現代に一瞬でも「ホッ」と生きる喜びや自然の大切さを感じて少しでも心の隙間を埋める事が出来ればと思いながら作品を制作しました。

#### 略歴

- 1956 滋賀県に生まれる
- 1978 京都精華短期大学立体造形専攻科卒業
- 1978 京展 '78 市長賞/京都市美術館
- 1981 第2回ヘンリー・ムーア大賞展 優秀賞受賞
- 1983 第10回現代日本彫刻展/山口県
- 1983 第3回ヘンリー・ムーア大賞展 美ヶ原高原美術館賞受賞
- 1993 第1回フジサンケイ・ビエンナーレ現代国際彫刻展 特別優秀賞受賞
- 1996 彩の国さいたま彫刻バラエティ '96 大賞受賞
- 2000 丸の内仲通り彫刻展(三菱地所、箱根彫刻の森美術館選定)/東京都
- 2001 ABC製作 テレビ番組「ガラスの地球を救え」第216回 出演
- 2002 紺綬褒章授章
- 2003 京都造形芸術大学 美術工芸学科彫刻コース 非常勤講師 '03年4月～'09年3月
- 2004 第8回K A J I M A 彫刻コンクール 金賞受賞
- 2005 京展 05 京展賞受賞/京都府2005 北京オリンピック彫刻コンクール 入賞/中国
- 2008 第9回桜の森彫刻コンクール 準賞受賞/秋田県
- 2012 第22回AACA賞 優秀賞受賞/社団法人 日本建築美術工芸協会
- 2013 彫刻家 深田充夫展「石、水と大地」を開催/ドイツ
- 2014 第15回世界湖沼会議参加(ペン画)/イタリア
- 2014 第19回瓦・造形展 招待出品/東京国立新美術
- 2016 滋賀県文化賞受賞



ツボニャンニャン



ゼブラニャンニャン mini 「やめてよ」

[今月の展覧会より]

## 伊勢崎淳個展 「現代美術としての備前焼」

と き／5月13日(土)～6月11日(日) 11:00PM～7:00PM  
ところ／ギャラリー宮脇 (月曜休廊)  
京都市中京区寺町通二条上ル東側 ☎075-231-2321

昨年末、備前焼の人間国宝・伊勢崎淳(1936年岡山県生まれ)の作品集『新しい備前 伊勢崎淳の陶芸』(巖谷國土著・監修/山陽新聞社刊)が、作者の傘寿記念に刊行された。そこで「オブジェ」と総称される造形作品は、器物のような用途を持たないということ以上に、「物」「物体」として表わされ、さらには「物質」から生まれてくる作品のことで、身近な自然にある風土性から直に、自発的に生まれてくるものである。

学生時代に同郷の現代美術家・岡崎和郎と出会い、後に瀧口修造と知り合い、池田満寿夫らとも親しく交友した伊勢崎淳は、ブランクーシ、ミロ、フォンタナ、タピエス、イサム・ノグチらの現代造形にも大いに触発された。伊勢崎淳の「オブジェ」の創作は、作者が一貫して述べてきた「伝統とは革新の積み重ねだ」という検証活動の実践であり、プリミティブでアニミズムを感じさせるその作品は、郷土伊部(いんべ)の陶土が孕む「物質の生命」のルーツに立ち還ることによって、作品に具現化されたものだ。このことこそが備前焼の本源的な追究となっている。

作品集の出版記念展である本展は、伊勢崎淳作品の「オブジェ」性に注目し、その本質と魅力を「現代美術」のなかに位置付ける展覧会となる。画廊1Fフロアでは陶オブジェ群によるインスタレーションを行い、ほかに小品も出品する。

初日5月13日午後3時～★巖谷國土氏による出版記念展特別講演会「現代美術としての備前焼」

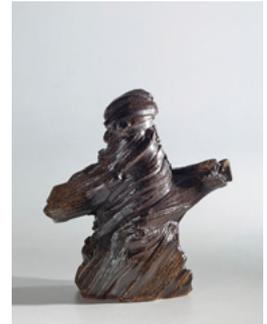
伊勢崎淳氏も来場しサイン会を行います。参加費1,500円。定員50名、予約制、お申込み先着順。当画廊までお名前・人数・ご連絡先をお知らせ下さい。



「倒木再生」2014年 L78cm



「風雪」2011年 H65m



「魍魎魍魎」2013年 H61m

## 禅の抽象—平塚景堂 展

と き／5月18日(木)～5月27日(土) 10:00AM～6:00PM  
ところ／大雅堂/1F・2F展示室(会期中無休)  
京都市東山区祇園町北側301-2 ☎075-541-7388

この度、「禅の抽象—平塚景堂展」を開催致します。

本山相国寺塔頭養源院の住職である平塚景堂氏。若くより美術や音楽といった芸術分野に関心を持ち、絵画展は毎年欠かさず開催しています。おもに日本画の画材を使用し、抽象画を制作する中で徹底して無駄を省く「禅」世界の本質と、「抽象」世界の関係を描きます。

この機会にぜひご高覧を下さいませ。

(展覧会に向けてのコメント)

どこの団体にも属さず、極めて個人的な自己流の手法による日本画材使用の平面作品です。本業が禅宗僧侶ですので、現代のアートシーンに関わりなく好きにやっております。また、個展会場には必ず自作の現代音楽をB・G・Mとして流しておりますが、わたくしの創作活動は昨今、作画、作曲がほぼ同等のウエイトとなっております。

(日頃の制作のモチーフやコンセプト)

日本画の画材を使用して抽象画を描いています。

日本画のイメージは「花鳥風月」で、現代なお具象画が主流となっています。

しかし世界はすでに20世紀初頭にカンディンスキーをその端緒として抽象画に突入し、様々なジャンルにおいて美術家は「具象(わかりやすさ)」から解放され、真の表現的自由を獲得しました。

「禅の抽象」というタイトルは、徹底して無駄を省く禅世界の本質が、抽象世界にほかならないというメッセージです。

【平塚景堂 略歴】

1949年(昭和24年)東京生まれ

東京芸術大学美術学部卒、美学を山本正男師に、日本画を滝沢俱幸師に、作曲を山田泉師に師事。

大徳寺専門道場にて禅修行。臨済宗・大本山相国寺塔頭養源院住職に就任。教学部長、財務部長、銀閣寺執事を経て現在承天閣美術館館長。

【絵画歴】

1994年 「ギャラリーマロニエ」(京都四条河原町)にて日本画個展(以後毎年)

1997年 フランスにおける日本年に招待出品

2002年 イタリア ミラノにて個展

2012年 フォーシーズンホテル東京にて個展、青山「タオ」にて陶芸家と合同展、南麻布セントレホールにて個展

【文学歴】

1993年 戯曲「さすらい枯野抄」大阪近鉄アート館にて上演(生瀬勝久他)

1990年 第一詩集「静かな夜の記録」出版(ノア工房)

1996年 第二詩集「オリヴィエ追想」出版(書肆山田)

2002年 第三詩集「夜想の旅人」出版(銅林社)

2007年 エッセイ「内なる風景へ(禅の現在型をさぐる)」出版(禅文化研究所)

2017年 小説「アララ」出版(編集工房ノア)



【無題】

会場	日曜	1月	2火	3水	4木	5金	6土	7日	8月	9火	10水	11木	12金	13土	14日	15月	16火	17水	18木	19金	20土	21日	22月	23火	24水	25木	26金	27土	28日	29月	30火	31水					
画廊 たづ		日本画常設展 (日祝休廊)																																			
ぎおんギャラリー八坂		染め彩々 (手描ローケツ染・藍染) 越智由利					着物をブラウス・スカート・コート等・帯はバック 山田理恵					たま&Shippo シルバーと七宝のアクセサリー 2人展 (代表 安部和美)																									
ギャラリー 梧桐		織の風景 吉水絹代展																				→6/4															
ギャラリー M		壬生狂言を描く展 (松本祐佳)										アジアの旅展 (ラオスと済州) (松本祐佳)																									
ギャラリー カト	1F	木のおもちゃ展					華陽会展					なまずの会展					第39回 カト展					悠画会展					→6/4										
	2F	毘沙門展					汎具象 作品展					悠悠会展					クラム洋画展					高野美和子展					→6/4										
ギャラリー かもがわ		第9回 憲法9条を守る女性美術展																																			
ギャラリー 祇園小舎		中浜稔 ねこの世界 懐かしの猫展					網野篤子 ガラスの金魚と 生きもの展2017					同志社大学スケッチクラブ 同好会世代 第4回スケッチ展					竹内明美 パートドヴェール展					あすま里展					→6/4										
ギャラリー 吉象堂		青美春季展					蒼遊会 II 展					茨木絵画教室展					島津 OB展					→6/4															
ギャラリー Create 洛		山口実展 (洋画) (月曜休廊)										キラリ! 発見展 (洋画)										齋藤真成展										→6/18					
Gallery G-77		STEPHAN Spicher (シュテファン・シュビーヘル) ELEMENTALS (日・月休廊)																																			
ギャラリー K																																					
ギャラリー 恵風	1F	深川未貴展 (平面)					佐久間嘉明展 (版画)					山本雄教展 (平面) (月曜休)										福田季生 日本画展					→6/4										
	2F	食器と飾器 (陶芸4人展)					菱田俊子展 (版画)					青木航太展 (平面)					芦田キクノ展 (平面)																				
会場	日曜	1月	2火	3水	4木	5金	6土	7日	8月	9火	10水	11木	12金	13土	14日	15月	16火	17水	18木	19金	20土	21日	22月	23火	24水	25木	26金	27土	28日	29月	30火	31水					
ギャラリー 佐野		山本みつるの作品展																																			
ギャラリー 三条祇園		今尾栄仁個展 (22、23日休廊)																																			
ざらりい 思文閣		小川待子展 (思文閣本社にて開催) (会期中無休)																																			
ギャラリー 白川		三辨正典展 - 春を描く (月曜休廊)																																			
ギャラリー 翔		第14回 アトリエグループ展 (ハガキ絵、油彩、水彩)					MORI 造形作品展 (子どもの絵画、工作)					高田典行陶芸展 (花器、食器他)					前田見知子創作展 (ガラス絵、油彩、水彩)					初夏の装 (アケビサリ一巻)					→6/4										
ギャラリー 16		岸田良子展 「TARTANS」 (絵画)					OVER THE IAMAS#7 山本美里・高見安紗美・田中雅吾 (インスタレーション)					日置瑠子個展 (インスタレーション) 樫本さや香漆展 - 残響の形 - (漆)					「st ART」 若手作家による絵画を中心としたグループ展										→6/3										
ギャラリー 創		常設展 鴨居玲・熊谷守一・伊藤若冲・白隠慧鶴																																			
ギャラリー 象鯨		宮崎まさのり 切絵象嵌陶展																																			
ギャラリー Little House		はんどめいど集合!					早川勝二・片桐嘉正展					水森亜土展					京の匠 建築家展					山本冬彦 選抜展					→6/4										
ギャラリー 鉄齋堂		第22回 近代絵画作品展					常設展 (6・9・18・19・28・29日休廊)																														
ギャラリー なかむら		美飾會 (造形6人展) (月曜休廊)																																			
ギャラリー 中井		吉田三太展					休廊					石塚辰哉展					鞍馬画会					中野 悟朗展					→6/4										
ギャラリー 白梅園		白崎信子ガラス作品常設展																																			
ギャラリー ヒルゲート	1F	赤松玉女個展 (絵画)					甲斐扶佐義写真展					小菅和子展 (二紀)					14 seasons 展 (京都市立芸大で80年代に学んだ作家たち)					木村 正恒展 西真展 (版画)					→6/4										
	2F						花原淳子展 (木版)					上西玄象・慶子展															→6/4										
ギャラリー 美楽堂		日本画常設展																																			

【短信】京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事で掲載している作品の画像は、当画廊のホームページ (<http://www.kyoto-art.net/>) では、すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。

会場		日曜	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	13月	14月	15月	16月	17月	18月	19月	20月	21月	22月	23月	24月	25月	26月	27月	28月	29月	30月	31月
④ ④	ギャラリーマロニエ 河原町四条上ル東側 221-0117	3F	表地久美子 (日本画)			裴貞順 (インスタレーション)			高橋宏子 (染織)			LIM CHOON BAE			後藤朝子 (人形)			→6/4															
		4F	室田泉 (テキストスタイル) (月曜休)												作家たちの戯び心-掌サイズの世界展- (月曜休)			武田浪 (陶芸)			→6/4												
		5F	KG+ (写真)			石田有作 (陶芸)									匠6人展			→6/4															
④	ギャラリーみすや 中京区三条河原町西入 211-5997	燎友会			どんぐりの会			私の絵展			水曜会			麒麟座会			→6/4																
④	ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348	工藤和彦 陶展			休廊												→6/1																
④	ギャラリー洛中洛外 山科区清水焼団地内 595-5450	谷口左和子 陶展			陶芸作品常設展示																												
④	ギャラリー龍馬 河原町三条下ル東入 211-7700	龍馬と酔屋 常設展 (水曜休廊)																															
④	ギャラリー正観堂 東山区切通新門前上ル 533-4110	常設展示 (水曜休廊)																															
④	ギャラリー宮脇 中京区寺町二条上ル 231-2321	伊勢崎淳個展「現代美術としての備前焼」 (月曜休廊)												→6/11																			
④	ギャラリー百音 (もね) 左京区岡崎神宮道東側 708-2138	アンティークマイセン・ガレ・ドーム or ガラス工芸展 (15・22・29日休廊)																															
④	ギャリエ ヤマシタ 中京区寺町三条上ル 231-6505	1号館 1F	テンペラ画グループ UOVO展			京都市曜画家協会展			八陽会スケッチ絵画展			火耀会展 (色えんぴつ画)			進齋会 水墨画展			→6/4															
		2F	いなおかまさゆき作品展 (イラスト画)			京大建築同人絵画展			科の会木版画展						植物画 三人展			→6/4															
		1号館 1F	谷村勲 絵はがき展 (水彩画)			川島正行日本画展「深奥なる墨の世界」			立命館大学写真部			小堀円蔵水彩画展			岡村達作作品展 (ドット刺繍)			→6/4															
		2号館 2F				第14回 景彩会水彩画展						第4回 写真展 (蒼樹) 「心ときめかす人たち」																					
④	京都ギャラリー 中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435	貸しギャラリー受付中																															
④	京都芸大ギャラリーアクア 中京区御池通堀川東入 253-1509	京芸 transmit program (月曜休廊)												休館			休館			→6/10													
会場		日曜	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	13月	14月	15月	16月	17月	18月	19月	20月	21月	22月	23月	24月	25月	26月	27月	28月	29月	30月	31月
④	京都芸術センター 中京区室町蛸薬師下ル 213-1000	国際ダンスワークショップ															のっぴきならない遊動			→7/2													
④	京都市学校歴史博物館 下京区御幸町通仏光寺下ル 344-1305	学びやタイムスリップ-京都の美術と学校- (水曜休廊)																															
④	京都陶磁器会館 東山区東大路五条上ル 541-1102	1F	染めつづき 浅野有希子陶展 (木曜休廊)			MUDDY真泥 (木曜休廊)																											
		2F	橋本大輔・よし子 二人展			柴田良三染付展「藍の風」 (木曜休廊)																											
④	京都万華鏡ミュージアムアートスペース 中京区姉小路東洞院東入 254-7902	田中道夫・和紙切り絵展			第2回 墨峯会 水墨画展																												
④	堺町画廊 中京区堺町御池下ル 213-3636	休廊			講演 講演			ライブ ライブ			映画			アフリカ プルキナのカゴ展			イラクの現代アート展			休廊			→6/4										
④	里見有清堂 中京区堺町三条上ル 221-5423	貸画廊受付中																															
④	蔵丘洞画廊 中京区御池寺町東入 255-2232	休廊			常設展			美の在処 (今井麗、オーガフミヒロ、吉田友幸) (会期中無休)			常設展						→6/9																
④	しむらのおうち 左京区岡崎神宮道西側 746-3303	「語りかける花」 志村ふくみ・志村洋子の作品の特別販売と アトリエシムラの商品書籍などの販売																															
④	大雅堂 東大路通祇園上ル 541-7388	GW休廊 (未定)			常設展 (日祝休廊) (コンセプトアールリズムアート)			平塚景堂展 (会期中無休)			常設展						→6/7																
④	梅軒画廊 中京区烏丸四條上ル 221-3510	日本画・洋画 常設展 (日祝休廊)																															
④	京都写真美術館 東山区神宮道三条上ル 746-2931	呑海龍哉写真展			JPCOグループ展			加藤文彦 写真展																									
④	ポルタギャラリー華 下京区京都駅前地下街 365-7533	額田晃作 素描と作陶展			高橋阿子 金工展			絢交5人展 (大上浩司・高山光広・武田公美・細川秀章・守崎正洋)									→6/4																
④	星野画廊 東山区神宮道三条上ル 771-3670	明治・大正・昭和名作発掘品展「バラの特集」 (日・月休廊)																															
④	松本松栄堂 中京区寺町東川上ル 212-0626	新古書画常設展示 (日曜・16日・月末休廊)																															
④	村田画廊 左京区松ヶ崎泉川町18-4 703-8960	常設展 (火祝休廊)																															
④	ヤマモトギャラリー 中京区姉小路寺町東入 231-2341	樋上千哲作品展 (ろう染)																															

発行：京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内 (☎222-0895)  
 [京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中] 1年間¥2,000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊 (☎771-3670) まで振込用紙をご請求ください。  
<http://www.kyoto-art.net/>